

# 「エコ自転車」の魅力アピール 小型電気車両お披露目



新たに開発された「E B++t y PeC」—御嵩町商工会館で

環境技術の開発と町 嵩町と相互連携協定を  
の活性化を目指し、御 結んでいる自動車・航

## 小型電気車両お披露目

### 御嵩町相互連携協定 太陽光充電で40キロ走行

空機部品設計会社「キヤリオ技研」(本社・名古屋)が中心となって製作した2人乗りの「小型電気車両 E B++t y PeC」のデモンストレーションが18日、同町商工会館で行われ、太陽光発電で充電し、走行できる「エコ自転車」の魅力をアピールした。

アシスト自転車の前部に座椅子を取り付けたようなデザインで、リチウム系バッテリーを搭載。太陽光で約12分充電すれば時速6キロほどで約40キロ走行できる。可児市に工場のある油圧機器メーカー「KYB」が量産に取り組む。座椅子は大人も乗れる強度があり、お年寄りを乗せてサイクリングしたり、観光地やスパーでの活用が期待される。量産すれば20万円程度で販売できる見込みという。

同技研の富田茂社長は「座椅子を外せばアシスト自転車として使え、カゴをつけて買い物にも行ける。iPadを搭載すればインターネットによる地図表示やナビゲーションシステムの使用もできる」と話している。26日に同町中公民館で開かれる「環境フェア」に出展、試乗会も開かれる予定。【小林哲夫】

る油圧機器メーカー「KYB」が量産に取り組む。座椅子は大人も乗れる強度があり、お年寄りを乗せてサイクリングしたり、観光地やスパーでの活用が期待される。量産すれば20万円程度で販売できる見込みという。